

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成26年12月26日
【四半期会計期間】	第17期第1四半期（自平成25年8月1日至平成25年10月31日）
【会社名】	株式会社ファーマフーズ
【英訳名】	Pharma Foods International Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 金 武祚
【本店の所在の場所】	京都市西京区御陵大原1番地49
【電話番号】	(075)394-8600
【事務連絡者氏名】	取締役総務部部长 新谷 義信
【最寄りの連絡場所】	京都市西京区御陵大原1番地49
【電話番号】	(075)394-8600
【事務連絡者氏名】	取締役総務部部长 新谷 義信
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成25年12月12日に提出した第17期第1四半期（自平成25年8月1日至平成25年10月31日）四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部【企業情報】

第4【経理の状況】

1【四半期財務諸表】

【注記事項】

(企業結合等会計)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____線で示しております。

(企業結合等関係)

当第1四半期累計期間（自平成25年8月1日至平成25年10月31日）

取得による企業結合

1 企業結合の概要

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

(訂正前)

株式会社広島バイオメディカルでは、広島大学で確立した鶏卵抗体のモノクローナル化・ヒト化技術を用いて、医薬品分野への進出を視野に入れ、基礎、応用研究を行ってまいりました。その結果、同社では国内外の大手製薬メーカーからの医薬品開発・診断薬目的のための各種抗体受託作製や共同での研究を行い、医薬品としての効果が期待される新たな候補抗体（リード抗体）を作製する段階に至っており、今後の創薬事業展開において、相乗効果が見込めると判断したものであります。

(訂正後)

当社が現金を対価として株式を取得したことによります。